



おかげで
5周年



柏西口第2地域包括支援センター
柏市豊町2-5-25イオンモール柏3階



7147-8001

豊珠会 検索

第2にしぼっぼ新聞

去る11月30日に柏地域医療連携センターにて地域包括ケア推進圏域会議を行いました。

会議では旭町・新富町地域の地区社協、民生委員協議会、シニアクラブなどの地域活動組織、支えあい団体、**居宅介護支援事業所**の方にお集まりいただき、「人と地域の資源がつながりやすくするために」について話し合いを行いました。

現在、地域にはシニアクラブや旭わくわくクラブ、サロンなど「**通いの場**」を含む社会参加の場やゴミ捨て、電球の交換などちょっとしたことを手伝ってくれる地域の「**助けあい**」団体があります。まずは各団体が活動の中で困っていることなどを共有しました。

そこでは地域の高齢化の進展で活動自体の存続が危ぶまれており、若い人をどう呼び込むか、支援する側のなりの手がいない現状やまだまだ

地域包括ケア推進圏域会議

「人と地域がつながりやすくするために」



PRが不足していることなどが課題として挙げられました。

ケアマネジャーからは地域の通いの場や助けあい団体、民生委員の役割などが把握できておらず、利用者と地域資源をつなげることができなかった、という意見が聞かれました。

こうした議論を踏まえ、人と地域資源がつながりやすくするために①地域の活動者やケアマネジャーが互いに顔が見える関係となり情報共有する必要があること。②互いに活動内容を広く伝える情報伝達の工夫が必要であり、まだ不十分であること。③活動の周知が次の担い手を増やしていくきっかけになりうることが明らかにになりました。

当日は参加された皆様の思いを伺うことができ、次にそれを実現するための具体策を考えていくことが当センターの宿題となりました。

居宅介護支援事業所

在宅介護の相談、ケアプランを作成するケアマネジャーが所属している事業所。ケアマネジャーは介護保険サービスのみならず、地域の資源も活用して利用者の生活を支えることが求められる。

助けあい団体

ちょっとした日常的な困りごと（ごみ捨てや草むしりなど）を町会等が主体となってささえるボランティア団体。旭町、新富エリアで3つの団体が活動している。（裏面記事を参照）

通いの場

気軽に出かけておしゃべりや体操で楽しく仲間づくりができる活動の場。サロンやコミュニティカフェと呼ばれている。

開所5周年を迎えて
柏西口第2地域包括支援センター 所長 笠原 大幸

5405件。この件数は当センターに2023年1月31日現在までに頂いた相談実件数です。おかげさまで、当センターは2018年2月24日にオープンしてきました。これもひとえに地域・関係機関の皆様のお力添えのもと、こうして成長することができ感謝を申し上げます。

5年間を振り返りますと、やはりコロナ禍と闘いながらの業務であったことが強く印象に残るところですが、昨今では感染予防対策をとりながら活動が再開されてきており、人とのつながりも回復しつつあるようです。当センターでも引き続き、お気軽にご相談していただくことを念頭に、これからもスタッフ一同、自己研鑽に努めながら「つながる」を大切に、業務に励んで参ります。今後も更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



わが街の「助けあい」

一面で紹介した旭町、新富地域の「助けあい」団体をご案内します。ちょっとした困りごとや、逆にお手伝いする側で協力したいという方がいらっしゃいましたらぜひお問い合わせください。

新富「かぶの会」

新富地域（豊四季町会以外にお住いの方）のちょっとしたお困りごとをお手伝いします。



◆支援内容…ごみ出し、草取り、病院 買物の付添い、家具の移動、雨戸の開閉

◆ご連絡を頂きますと後日コーデイネーターが訪問し話を伺います。支援するボランティア（協力会員）も募集しています。

◆連絡先…新富「かぶの会」
会長 富田谷三恵子
☎090(4169)5333

ささえあい豊四季

ささえあい豊四季は豊四季町会内の高齢者の自立支援を目的とした助けあい団体です。住み慣れた家で安心して暮らして続けられるようごみ出し、草取り、電球交換、買い物代行、雨戸や家具などの軽微な修繕など日常生活のお困りごとをお気軽ににご相談ください。

◆連絡先…ささえあい豊四季
季会長 古川博康
☎090(9953)6032

元気かいあさひ

あさひ北部自治会は普段から住民同士の声かけを通してのつながりを大切にしていきます。あさひ北部自治会「元気かいあさひ」であり、住民に困っていることがあれば自治会でできる支援を検討します。（高木会長談）

◆支援内容…ごみ出し
◆連絡先…元気かいあさひ
代表 鈴木晴幸
☎04(7143)2791

認知症地域支援推進員便り

心配…お隣さんの認知症…

最近、お隣さんが「物忘れが多くなって心配」、「ごみ出しが適切にできない」、「ごみ屋敷になっている」など、認知症が疑われる方についてのご相談が地域包括支援センターに寄せられています。

地域包括支援センターではこうした相談を受けると、まずは訪問してご本人の状況を確認します。

大抵の場合、ご自分が認知症であることを自覚していないか、または認めたくないケースが多いです。それゆえに十中八九「大丈夫」とお答えになります。

ここで善は急げと無理に説得をしようとするとうちの関わりを拒絶されてしまうおそれがありますので、相手の反応を見ながら訪問を続けご本人、ご家族との信頼関係を築きながら受診や適切なサービスにつながるよう支援していきます。

しばしば住民の方から「もっと早く対応できないのですか」、「病院に連れていけないのですか」、「入院をさせられないのですか」と質問を受けることがありますが、ご本人が「病院で診てもらおうか

な」という気持ちにならないと支援を受けるステップに進むことは困難であり、強制的な対応は医師や警察、家族でさえもできません。そのために、私たちは介入のタイミングを見極めながら時間をかけて関わっています。もどかしい思いをされるかもしれませんが、このような事情があることをご理解ください。その間、地域の皆様にはご本人たちを優しく見守っていただけると嬉しいです。

また、もし道に迷ったり徘徊している方をお見掛けしたら声をかけたり、事故や事件に巻き込まれる前に警察に通報していただければと思います。これをきっかけとして遠方にお住いのご家族が現状を知る機会となり、事態が進展する第一歩となるためです。

認知症を理解するサポーターになりませんか？
「認知症サポーター養成講座」受講者募集中!

とき **3月29日** 14:00~15:30 (水)

場所 **サ付高齢者向住宅「和楽久 豊四季」**
(豊四季382-3)

※お問い合わせは柏西口第2地域包括支援センターへ